

## ー実践から学ぶフリーランスの世界ー

### 東京工芸大学「芸術学部フリーランス（個人事業主）に関するセミナー」を開催

東京工芸大学芸術学部（以下、本学部）は、1月25日（木）と31日（水）にフリーランスとしてのキャリアに関心のある本学芸術学部在学学生を対象に「芸術学部フリーランス（個人事業主）に関するセミナー（以下、本セミナー）」を開催します。本セミナー実施から6年目となる今年度は、実際にフリーランスとして活躍中の本学在学学生が講師として登壇します。

本学部で学ぶテクノロジーとアートを融合させた「メディア芸術」は、クリエイティブな文化・産業です。このようなクリエイティブな文化産業を希望する卒業生はクリエイティブ業界を中心とした広告、写真、映像制作、デザイン制作会社、アニメーション制作、ゲーム制作、の企業等に就職する以外に、企業に所属せずにフリーランスとして活躍する道もあります。本学部では、すでに自身の写真事務所や映像制作会社を立ち上げ活躍している卒業生もいます。しかしながら、組織に属することは異なるフリーランスは、税務関連や知的財産に関して幅広い見識を持つておく必要があります。これらの理由をもとに2018年から本セミナーを開催しています。

今年度のセミナーでは、本学創立100周年を迎えたことを機に、新たな試みとして実際にフリーランスとして活動する在学学生を講師に招聘し、実践的な視点を取り入れました。これにより、昨年度にはなかった新たな要素を加えた内容でセミナーを2日間に分けて開催します。

まず、1月25日は、オンライン形式で「フリーランスを目指す人のためのお金に関するセミナー」を開催。2時間にわたるこのセミナーでは、公認会計士と本学マンガ学科准教授でマンガ家の夢来鳥ねむが、確定申告のポイントや開業届の必要性、昨年導入されたインボイス制度の概要など、フリーランスとして知っておくべき財務の基礎を、対話形式でわかりやすく解説します。

1月31日は、対面形式で「4年生フリーランス成功者の活躍術」を開催。現在フリーランスとして活動している現4年生の学生2名が講師を務め、彼らがどのようにして在学中からフリーランスの道を切り開いたのか、その経緯や方法について詳しく話します。また、仕事の受注方法、報酬に関する交渉、求められる能力やスキル、フリーランスとしてのメリット・デメリットなど、貴重な実体験に基づく情報が共有されます。

本学部では、メディア芸術に特化した教育を通じて、学生たちがそれぞれの夢を実現できるよう、これからも多角的なサポートを続けていきます。

■関連記事

- ・東京工芸大学芸術学部がメディア芸術のための「彫刻セミナー」を開催 -- 彫刻制作からクリエイターのキャリア形成を学ぶ(2022.0817)  
<https://www.t-kougei.ac.jp/activity/pr/uploads/2021/08/freelance20210830.pdf>
- ・東京工芸大学芸術学部が「2021年度芸術学部保護者向け就活セミナー」を開催(2021.1008)  
<https://www.t-kougei.ac.jp/activity/pr/uploads/2021/10/parent-teacher%20conference20211008.pdf>
- ・東京工芸大学が日経キャリアマガジン『価値ある大学2022年版』において5項目で上位を記録(2021.0610)  
[https://www.t-kougei.ac.jp/activity/pr/uploads/2021/06/nikkei\\_hr2022\\_0610.pdf](https://www.t-kougei.ac.jp/activity/pr/uploads/2021/06/nikkei_hr2022_0610.pdf)
- ・東京工芸大学芸術学部が『2021芸術学部お仕事BOOK』を制作—芸術学部で学ぶ上での道しるべに—(2021.05.27)  
[https://www.t-kougei.ac.jp/activity/pr/uploads/2021/05/oshigotobook\\_20210527.pdf](https://www.t-kougei.ac.jp/activity/pr/uploads/2021/05/oshigotobook_20210527.pdf)

